

平成 25 年 10 月 1 日

国交省横浜国道事務所長殿
横浜市道路局長殿
東日本高速道路(株)横浜工事所長殿

横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会
会長 比留間哲生

**2013 年 3 月 23 日付質問書における国交省横浜国道事務所等からの回答に係わる
再確認事項等及び新たな質問について**

「横浜環状道路事業計画等に係わる質問書」を平成 25 年 3 月 28 日付で提出し、同年 6 月 19 日にその質問書の回答を会議形式により説明頂きましたが、回答に内容について理解しがたい事項並びに回答内容から改めて確認したい事項等が出ております。

これらにつきましての再確認及び質問事項、また、その後の経過等により種々の疑問、問題等が発生しております。

従いまして、下記のとおり質問いたしますので、ご回答頂きますよう要請します。

記

1. 2013 年 6 月 19 日回答における再確認事項及び再質問について
別紙—1 のとおり
2. 横環南線、上郷公田線に関わる新たな質問について
別紙—2 のとおり

以上

[別紙—1]

2013年6月19日回答における再確認事項及び再質問について

2013年10月1日

横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会

[再確認・質問については、3月28日付質問書の項番、項目（下線）の
関連事項として整理しております]

Q [1] 1. 事業評価監視委員会について、家田事業評価委員長監視委員長、太田国交大臣他への質問文
書に対する回答について

1. 家田委員長への面会要請について、事業評価監視委員会後に要請を行っており、笠原さんとの
間の確認では時間がないから会えないということまでである。そのあとのことはどうなっている
のか確認を行って面会の段取りをつけて頂きたい。

Q [2] 「広報よこはま市版」 について

1. 南線、横湘、相模縦貫道全部通過したら55分になる理由を、具体的にどういう数字を出したの
か示してください。本牧から釜利谷まで何分、釜利谷から栄JCまで、栄JC～茅ヶ崎JC、
その先のJCごとに何分掛かるといふ数値を皆が解るように出してください。
2. 横浜港から八王子JCT間が現在150分であることについて、上記と同様に、経由地間ごとに
何分掛かるとの数値を持って示してください。

Q [3] 南線の事業評価監視委員会提出資料の記載内容について

1. 横浜港から各方面への下記の所要時間について、前項と同様に、経由地間ごとに何分掛かると
の数値を持って示してください。
 - ① 現在の 170分（本牧JCT～鶴ヶ島）及び150分（本牧JCT～八王子JCT）
 - ② 整備後の55分（本牧JCT～八王子JCT）及び85分（本牧JCT～鶴ヶ島JCT）
2. わが国、世界における現存する最大のトンネル断面積の数値とその所在地について、その後の
調査結果を示してください。

Q [4] 事業評価監視委員会資料の用地費・補償費について

事業費用内訳の残事業の数値がH24年度末（H25年3月末）の見込み数値であったと理解した
上で再度用地費及補償費について2点質問致しますのでお答え下さい。

1. H24年度末での用地取得の見込みを下記計算のように79.3%としている。
 $100 - 100, 300 \div 485, 300 \times 100 = 79.3$
ところが「よこかんみなみ vol.30」でH25年3月末の進捗率は約77%となっている。
H24年3月末の進捗率は74.5%であったので1年間の実際の進捗は2.5%であ
った。ところが資料5-3-②の見込みでは4.8%と実績の倍近い数値となっている。H2
4年度下半期も1ヶ月過ぎて第1回の評価監視委員会の開催後に間違いがあったと訂正された

数値でありながらこれだけ大きな見込み違いが生ずるのは頷けない。委員に用地取得が順調に進んでいるように見せるため故意に膨らませたのではないかと考えます。

どうして見込みが大きく狂ったのか理由をお教え願います。

2. 残事業の補償費が直近実績単価に基づいて算出されていない。

1) 事業全体と残事業より取得済み事業の面積と補償費を算出する。

		事業全体		取得済み 事業		残事業	
用地費		485,300	m ²	385,000	m ²	100,300	m ²
	宅地	156,600	m ²	119,800	m ²	36,800	m ²
	田畑	113,400	m ²	92,700	m ²	20,700	m ²
	山林原野	90,700	m ²	68,500	m ²	22,200	m ²
	その他	124,600	m ²	104,000	m ²	20,600	m ²
補償費		89,052	百万円	32,639	百万円	56,413	百万円

2) 次に補償費の地目毎の金額が明らかにされていないので用地全体で、あるいは宅地だけで、田畑だけで、山林原野だけで、その他だけで補償費を使用した場合のm²単価を算出してみる。

		事業全体		取得済み 事業		残事業	
用地費		18.3	万円/m ²	8.5	万円/m ²	56.2	万円/m ²
	宅地	56.9	万円/m ²	27.2	万円/m ²	153.3	万円/m ²
	田畑	78.5	万円/m ²	35.2	万円/m ²	272.5	万円/m ²
	山林原野	98.2	万円/m ²	47.6	万円/m ²	254.1	万円/m ²
	その他	71.5	万円/m ²	31.2	万円/m ²	273.8	万円/m ²
補償費		89,052	百万円	32,639	百万円	56,413	百万円

3) 取得済み事業の単価は全体でも各地目毎でも事業全体の単価の半分以下となっているが、残事業の単価は**3倍前後**になっている。用地費の単価が事業全体、取得済み事業、残事業とも殆ど同じことと比較すると残事業の補償費の単価の異常が明らかである。

4) 取得済み事業の単価で残事業も収まる筈と考えるが、当初の事業全体単価で残事業の補償費を2)と同じように算出してみる。

		残事業		事業全体(予算単価)		残事業補償費	
用地費		100,300	m ²	18.3	万円/m ²	18,355	百万円
	宅地	36,800	m ²	56.9	万円/m ²	20,939	百万円
	田畑	20,700	m ²	78.5	万円/m ²	16,250	百万円
	山林原野	22,200	m ²	98.2	万円/m ²	21,800	百万円
	その他	20,600	m ²	71.5	万円/m ²	14,729	百万円
補償費		56,413	百万円				

5) 山林原野だけに補償費を使った場合の金額が一番大きいのでこれを残事業の補償費とすれば**218億**円で充分賄える。

前回でも申し上げましたが事業見直しに伴い工法、数量だけでなく予算金額も見直すのが当然と考えますので 残事業の補償費 564 億円と 218 億円の差額 **346 億円**は予算を減額するようお願いいたします。反論は地目毎の補償費の内訳等根拠を明示して示して下さい。

Q [5]湘南桂台地区における問題について

1. 3月28日付質問書の[5]1.項に示した質問について納得いく回答を頂きたい。(湘南桂台自治会とは別に頂きたい)

(参考:[5]1.項)

[5] 湘南桂台地区における問題について

1. 国交省、横浜市、NEXCO はいずれも地元の疑問に答えてはいない。

①NEXCOは湘南桂台に存在する道路予定地三箇所にてボーリング調査(平成15年4月~15年5月9日)を行った。ボーリング結果はNEXCOより柱状図を頂いているが、NEXCO及び地元では通称NO.2地点と呼んでいる地点(道路予定地と桂山公園通りとの交差する地点辺り)の柱状図を見ると、電気検層結果の比抵抗(Ωm)が地表から4.5mまでは最高値80ほどあるが、4.5m以下旧谷底と思われる23.5mまでは、0に近い。更に深くなると最高100ほどの値を示している。これはこの間が地下水層になっていると判断し、

①その見解を質問したが、未だに回答はない。

②その付近の第三次元断面の提出を願ったが、未だに提出がない。

NEXCOは柱状図の説明はせず、道路予定地から外れる2箇所のボーリングを要求し、行ったがその2箇所の柱状報告から電気検層結果の比抵抗の値を除いて報告してきた。

③電気検層結果の比抵抗の値を除いたのはなぜか?また、ボーリング結果について口頭でも書面でも頂いていない。

④道路予定地NO.2地点付近では、大雨時大量の地下水が路肩礎石から溢れ出て側溝に流れ、歩行が困難になる。この状態は、大雨により一時的に地下水水位面が上昇するためであると判断する。決して湘南桂台の埋め土は、高速道路に適しているとは思われないし、地盤が固まっているとは、到底考えられない。

①②③④いずれの質問にも未だに納得がいく答えを頂いていないので、回答願いたい。

Q [7]庄戸地区の地盤について

1. 3月28日付の質問書の[7]に示した質問に回答頂きたい。

(参考：[7]項)

[7]庄戸地区の地盤について

1. トンネル掘削による周辺地盤に与える変形について下の事項についてお答えください。
 - ① 変形の生じる範囲およびその程度
 - ② 変形の予測をするのに用いた土質試料の採取地点
 - ③ 変形の予測をするのに用いた土質試料の数値データ
 - ④ 変形の予測をするのに用いた計算方法および解析方法
2. トンネル掘削の際の地盤補強が地表に全く影響を与えないということを証明してください。
3. トンネル掘削の際の地下水処理の方法を教えてください。
4. 地震の際にトンネルが地盤に影響を与えないということを証明してください。
5. 野島層の岩盤がトンネル掘削や自動車の走行によって変形しないということを証明してください。
6. 地盤沈下の基準値 25mm,1/1000rad について説明してください。

Q [その他]：回答説明時の質問・回答関連事項

1. トンネルの待避所、避難通路等の実例（検討中のものでも可）を示してください。
2. 市民から市長に行政上の要請があった場合に、責任を持った部署が責任を持って回答等対応するという制度（権限を委譲）について示してください。また、権限の履行には責任を伴うが遺漏時の責任の行使（処罰等）についての規定を示してください。

以上

横環南線及び上郷公田線に関わる抗議並びに新たな質問について

2013年10月1日

横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会

会長 比留間哲生

1. オリンピック関連ニュースについて（抗議と質問）

9/10 付け「日経記事に3環状道路は五輪までに大半が完成する見通し」と題した3環状の計画図が発表された。その中で横環南の部分に2015年度までに開通する区間（一部再検討が必要な区間も）と紹介されている。

この件に「横環南線は2021年の完成見込みであると決定している」と日経に抗議したところ「横浜国道国道事務所のHPで表示されているので変更する意思はなく今後もこれを使用する」との回答を得た。

関東地方整備局のHPで平成33年供用予定とする事業再評価結果を公表しているのになぜ最新情報を公表しないのか、国民に誤解を与えるので即刻訂正を求める。

この事態について厳重に抗議する。

また、なぜこのようなことになったのか理由を説明されたい。

・添付① 9月10日付日経記事

2. 横環南線に係わる工事について

以下の工事等について、工事内容等の詳細な説明を願いたい。

- ① 飯島地区整備工事について
- ② 横環南線 公田地区掘割試験工事について
- ③ 横環南線 栄IC/JCT下部工事について
- ④ 横環南線 埋蔵文化財試掘調査（25年度）について

3. 上郷公田線に関わる工事等について

以下の工事等について、工事内容等の詳細な説明を願いたい。

- ① 切土工事（2箇所）について

4. 朝日平和台自治会内「上郷・公田線」建設計画に関する質問について

既に、要請済みの質問について回答を願いたい。

・添付② 当自治会区内「上郷・公田線」建設計画に関する質問

以上